

DOYU

I W A T E

11
Nov.

2024
Vol.180
同友いわて

「地域の営み、
景観、街並みを

『点』を『面』に繋げる設計事務所」

(株)三衡設計舎 代表取締役社長 勝部 敬次 氏



「地域の営み、景観、街並みを

『点』を『面』に繋げる設計事務所」

（株）三衡設計舎 代表取締役社長 勝部 敬次氏

盛岡市の紺屋町は江戸時代に盛岡城下を通る奥州街道に沿って発展した町人町でした。中津川を利用した紺屋染物屋が集まっていたことに由来しており、最近では環境に配慮し行われなくなっていますが、中津川で染物を洗う風景は冬の風物詩でもありました。

今でも冬場をのぞく第3日曜日に古くからの街並みに沿って開催されるアンチック市には県内外からプロアマ問わず骨董好きの方々が集いま



す。そうした風景、景観と過ごす時間そのものが盛岡の歴史であり、後世に残していくべき大切な地域の営みを残す文化財として基調なものとなっています。その町中の紺屋町番屋の向いにある三衡設計舎の新社屋は、昨年新築されました。古くからの黒漆喰の町屋の風合いを感じさせる木造二階建ての建物は、黒一色の縦格子の門扉に包まれ、新しい建物であるはずなのにその町に昔からあったかのような、風景に馴染んだ風合いです。2024年度の盛岡市の都市景観「紺屋町の町家（まぢや）」を受賞。最近では海外からのお客様も足を止め、撮影をする姿が見られます。

業界をリードする

設計事務所

歴史ある紺屋町の一面にある三衡設計舎は1987年（昭和62年）に勝部氏の父、民男氏（現会長）が一級建築士事務所として紺屋町に設立しました。三衡設計舎の社名の「衡」は「ハカリ、モノサシ、バランス」を意味し、「三衡」で三角定規を表しており、物体の中でも安定した形である三角形を象徴しているほか、みちのくの文化を拓き、培ってきた奥州平泉藤原氏三代の清衡・基衡・秀衡に何万分の一でもあやかりたい思いもあり「衡」を社名に入れていきます。その他の地域における環境整備の調査、計画、設計業務などを主とし、設計作品は「深澤紅子・野の花美術館」「盛岡市遺跡の学び館」「鉾屋町界隈家群」ともりおか町屋物語館」最近では平泉の「平泉世界遺産ガイドランスセンター」などを手掛け数々の賞を受賞し業界をリードする存在です。

建築家を志し

貪欲に学んだ日々

勝部氏は高校卒業時、将来の進路について2つの選択が

ありました。1つは医療系の道、もう1つは建築士の道。悩んだ末、幼い頃から自分の父親の仕事を見ながら育ったこともあり建築士の道を選択しました。卒業後は仙台の設計会社に5年勤め、2004年（平成16年）盛岡に戻り三衡設計舎に入社します。大学で建築の勉強はしたものの、やはり目指すは一級建築士です。そのため、昼は仕事をし、夜は建築取得の学校に通い、人生でこんなに勉強したことがない位、寝る間も惜しんで必死で頑張り一級建築士の資格を取得しました。

経営者として 将来のビジョンを考える

そして、2017年代表取締役社長に就任します。仕事は順調に進んでいます。社長になったからにはこれから先の未来の会社の姿をしっかりと考えていかなければと、岩手同友会の「第14期人を生かす経営・経営指針実践塾」を受講します。そこで「何のために」とことん考え、建築を通して何を表現させていきたいのかを考え学びます。本当に今までそこまで考えたこと

がなかったのが大変刺激的な半年の学びだったと振り返ります。そして設計を通して自社の未来を確立しました。

建築設計の考え方を 大きくシフトチェンジする

「これからの建築は家・建物を建築する上で大切なものは、ただ建物を単体で建てるだけが建築士の仕事ではないと思います。例えば地域の営みや、景観、街並みなど『点』であるところを『面』に繋いでいき、今事務所のある紺屋町を始めたとした、盛岡の街づくりには欠かせないそこに住んでいる人、商売をしている人、その地域に訪れる人などを一緒に巻き込み、古い建物、文化財を引き継いで後世に残していきたいと思えます。また、環境も刻々と変わるなか建物自体も省エネ、建物循環の仕組みも含めて暮らしと密着しながら作っていきたい」と勝部氏は語ります。現在、紺屋町周辺もたくさんのマンションが建設され町並み風景が変わりつつある中、これからも三衡設計舎が紺屋町に存在し建築をとおして景観を守り大切に繋いでいく企業として大きな役割を感じた企業訪問でした。

2024新入社員 フォロワーアップ研修会

悩み、考え、

語り合った大研修会

未来の自分をつくるのは

自分だけ

9月26日(木)、2024
新入社員フォロワーアップ研修
会がアートホテル盛岡で行わ
れました。

今年度は新入社員36名、実
行委員22名、総勢58名が半年
経つての再会の研修になりま
した。

最初に下村善勝社員共育委
員長(株)エムティワンまごこ
ろみるく(代表取締役)より
「半年経つてどうですか。一
度振り返ってみましょう。失
敗して悩んだこともあると思
います。失敗は自分が行動し
た結果になります。失敗を
恐れず自分で考え意思を磨く
ことが大事です。自分しかで
きないことがあります。その



可能性を見失わないで下さ
い。未来の自分をつくるのは
自分です。自分は何のために
生きているのかも一度考え
てみましょう。」とあいさつ
があり、第1講に入りました。

意識して仕事に

取り組んでいますか

今回の研修では第1講から
第4講まで岩手同友会社員共

育委員会で検討し、独自に作
成した「気づきと学びの検討
シート」を使い単元ごとに自
分が考えたこと、気づいたこ
とを記入した後に、グルー
プ内で共有しながら進めて行く
内容になっています。

グループ内では「4月に掲
げたことをすっかり忘れてい
た。」「振り返りこの先どう仕
事に望むべきか再確認でき
た。」「確実に自分の意識がプ
ラスに変わったと思えた。」
など入社後の振り返りと自分
の行動を見直す第1講になり
ました。

第1講は「入社からの振り
返りと現状認識」です。

最初に、(株)八木澤商店 取
締役 河野千秋氏より「皆さ
ん半年前の新入社員研修会の
ことを思い出してください。

自分を受け入れ
さらけ出すことが大事

どんな想いで研修に参加し
れからどうなりたいのかを考
えたと思います。その中でこ
の一年大切にしたいことを色
紙に書いて発表しました。今
はどのようなことを意識して
仕事に取り組んでいますか。
常に意識して取り組むことは
難しいことですが、一度立ち
止まり半年間を振り返ること
は大切なことです。この時間
を皆さんで共有しましょう。」
と問題提起があり、それぞれ
が4月の研修会で色紙に書い
た「私にとってのひとつの大
事(今年1年自分が大切に取
り組むこと)」を振り返りな
がら記入作業に入りました。

続いて第2講は、(株)麴屋も
とみや 代表取締役 本宮啓
氏より「あなたが未来に実現
したい夢」をテーマにお話し
していただきました。最初に
本宮氏から「自分自身の変化
こそが環境を変えるのではな
いか。今の自分を受け入れ、
自分の想いや考えを周囲にさ
らけ出せていますか。」との
投げかけからになりました。

本宮氏は自身の体験から、表
面だけの知識を武器に出来な
いのにできる振りをしていて
いた自分がいました。でもそ
れは周りから見透かされてお
り周りを振り回していただけ
でした。

報告を受けてグループ毎に
「どうしたら自分が描いた夢
を実現することができるか」
をテーマに討論しました。各
グループからは「見栄を張る
のではなく素の自分を出し、
感謝を忘れずに自分だけが我



「大事なことはできないこ
とをできないと伝えることで
す。相談し合える仲間はたく
さんいます。自分が変化する
ことで周りの捉え方が変わり
環境も変わります。どんな自
分でありたいのか。そのため
にどう行動するのが重要で
す。」と報告していただきま
した。

報告を受けてグループ毎に
「どうしたら自分が描いた夢
を実現することができるか」
をテーマに討論しました。各
グループからは「見栄を張る
のではなく素の自分を出し、
感謝を忘れずに自分だけが我

慢しないことが仕事とプライベート両方の人間関係を良好にするために必要なのではないのか」「仕事は一人で行って一人で成功するものではなく、そこに誰かが関わり協力してくれるということであらためて知る事ができた。」などが出され、それぞれが閉じてしまいたい気持ちを晒して話す姿がありました。

昼食後は、経営者や直属の上司などからのメッセージに真剣な眼差しで読んでいる姿が印象的でした。

諦めずに責任を持ってやり続けること

第3講先輩社員の体験報告では、(株)杜陵工業入社3年目の高橋萌花さんに「なりたい(ありがたい) 自分の再確認」をテーマに報告していただきました。

現在HPやインスタグラムでの発信を担当しています。が、記事を投稿し続けて1年間受注につながりませんでした。「このままでいいのか」と思いながらも更新し続ける



高橋萌花さん

ことでようやく受注が入るようになりました。その間「更新し続けているのはいいことだよ」という言葉をいっていただけで頑張ることができた」と話す高橋さん。この3年間で一番の成長は、計画をたてることで逆算して物事を考えられるようになり焦ることがなくなること、結果時間にも余裕を持てるように変化したと言います。「仕事に責任を持ち諦めずにやり続けることで必ず誰かが見ていて評価してくれます。皆さんも自分の仕事には責任を持って取り組むようにして下さい。」と新入社員に向けてエールを送っていただきました。

大切なことは、相手を思いやり対応すること

第4講は、岩手同友会 菊田事務局長より「社会人としてのマナー応用編」の講義がありました。

4月の新入社員研修会で行ったマナー研修から半年がたち、忘れかけていた名刺交換や電話応対などの再確認を行いました。また、グループを越えての名刺交換では笑顔で言葉を交わす余裕が見られるなど緊張していた4月に比べ成長を感じることができました。更に応用編としてクレーン電話のやり取りを実践。相手の状況を正確に把握し、対応することの大切さを学ぶとともにグループ内では「自分は会社の代表としてお客様と接するということを忘れないようにしたい。」「あらためてマナーというものの難しさを痛感した。」「自己流のマナーになっていないのかを見返す良い機会になった。」などの話が出ました。



半年後は、頼る立場から頼られる立場へ

最後に(株)オノデラサイン代表取締役 小野寺久治氏よりまとめの報告がありました。「このフォローアップ研修会は新入社員だけではなく経営者・幹部社員もこの場に学びに来ています。私もこの場に参加させていただき、仕事を始めた時のことを思い出し、自分自身がりセットでき

る時間です。そのために毎年参加させていただいています。皆さんも新入社員として会社に入った4月のことを思い出してください。半年が経ち同期で入った皆さんは業種が違っても同じ事で壁にぶつかり、悩み、考え、学んでいます。それを忘れないで下さい。ここからさらに半年後、来年4月になると新入社員が入り頼る立場から頼られる立場になるかもしれません。その時に今日学んだこと、今感じていること、思っていることを新入社員に伝えられるようになりましょう。」と皆さん全員への問いかけがあり今年度のフォローアップ研修会が終了。新入社員だけではなく実行委員として参加した経営者・幹部社員一人ひとりが自分事として考える時間となりました。

支部・地区通信

岩手リアス支部

経営指針の修了生3人が 瑞々しい報告

岩手リアス支部9月例会が9月17日（火）、24名の参加でおおふなポートで開催されました。今回は第18期人を生かす経営・経営指針実践塾に支部から(株)デクノボンズ 代表取締役 小野寺伸吾氏、(有)フチガミ 代表取締役 淵上淳氏、(株)ムラスイ 専務取締役 熊谷大樹氏が受講し半年

かけて学んできたことから、3名のリレー報告が実現しました。

「経営指針で会社の未来が変わる！」をテーマにお話いただきましたが、菜種油など種から油を絞る商品として製造を行っている小野寺氏は「菜種など農産物を生産する農家が高齢化の中で、自分に関わる一関市大東の地域全体の夢を展望したい」と話がありました。また淵上氏、熊谷氏からは「6ヶ月前の自分からは想像もできないくらい、自分自身と向き合い、自社や地域、そして10年後の未来について真剣に考えた」とご自身のこの間の体験を中心にお話がありました。

会場から 止まらない質問の嵐

会場に集った若手後継者からは、具体的な質問が相次ぎました。「実際にいつ後継を考えているのか」「どんな地域に必要とされる新事業を生み出すつもりか」との熊谷氏

への質問や、また淵上さん

には「自分のつくった経営指針を社員の皆さんに話したとき、どんな反応をしてくれたか教えて欲しい」との質問が。そして小野寺氏には、「地域で実現したい夢をもっと具体的に、スケジュールまで教えて欲しい」など、鋭い質問が続き、報告者の皆さんが冷や汗をかきほどうでした。

来年は先輩方により 深く関わって欲しい

最後に参加していたゲストや30代の若手後継者から「来年は自分たちが経営指針づくりに参加します。今年のメンバーが、夜屋なく地元先輩方に関わってもらい、気づきが大きかった、と聞いています。岩手リアスの先輩方、ぜひ来年は寄り深く今年以上に一緒に関わってください」と宣言。笑い溢れる例会となりました。



県央支部

9月25日（水）県央支部9月例会がオガール大スタジオにて開催されました。今回は「本場に引き継ぐ大切なものは何か」を学んで実践、進化、深化、そして進化し続ける企業をめざしてのテーマで、(有)小川原自動車販売 代表取締役 小川原一成氏と専務の小川原航氏のお二人に立っていただき、リレー形式で報告いただきました。

今年7月に宮城で行われた中同協定時総会で、新潟同友会の元代表理事、有希化学(株)の会長本間雅樹氏とご子息で現社長の本間英樹氏のリレー報告分科会と一緒に参加した二人は、岩手に帰ってから以前にも増して会社のこれからの話をするようになったと話します。

それぞれからご自身でこれまで考えてきたこと、取り組んで来たこと、そして協力します。



て実現したい未来展望を、包み隠さず語っていただきました。

恵まれた時代の2代目

社長の一成氏は、大学卒業後、数年間のサラリーマン勤めを経て父の経営する小川原自動車販売の2代目として入社します。当時は自動車産業が主流で、朝、会社のシャッターを開けるとすでに修理の車が待機し、次から次と休みなく仕事が入り、とても恵まれて楽しく過ごせた時代でした。

リーダーの役割の勘違い社長が 「社風づくり」へ大きく転換

会社のこれからの進むべき未来を描く経営指針がなかったことから、同友会の仲間と成文化を取り組みます。しかしながら同じ仲間から問われたのは「なぜ販売業をやっているのか」「社員のことをどう思っているのか」「将来どんな会社になりたいのか」など、これまで聞いたことのない話ばかりでした。社員は社長の言うことを聞くものだとリーダーの役割の勘違いを

している酷い経営者でした」と一成氏は話します。

それからは日常の例会や行事にも積極的に参加し、他の経営者の様々な経験を自分のものにしようと貪欲に向き合っていました。特に社員共育委員会で、委員長を務めながら、「風通しのよい会社」をつくることを掲げ、学び続けました。そうした努力が土台になり、現在の社風ができてきました。

お客様の心の傷を治すのがわが社の仕事

その後、大学卒業後、地元に戻り会社員として営業を経験した専務の航氏が2015年に入社します。入社当時社長からは「わが社は車を治すのではない、車を預けてくれるお客様の心の傷を治している」と言われ業務に励みました。一番感動したことは先輩



社員の钣金技術の素晴らしさで、自分もそうなりたいと現場に入り必死に学びました。

社長と本音で語れない日々

「社長が苦勞して理念と社風をつくってくれたので、今度は自分が後継し、次の未来を作りたい」と航氏は経営者として覚悟します。しかし現実はその甘くはありません。「一番大変だったのは、社長とじっくり向き合えなかったことでした。親子関係は悪くないのに何故か本音の会話ができなかった。社員との距離はどんどん近くなるのに、社長との距離を縮めるのは自分の中に葛藤があった」と航氏は当時を振り返ります。

本業を忘れず文化的未来のためにチャレンジ

その中でも、何とか向き合い自分として変えていくものは何かを見つけます。始めに会社のホームページを紹介型から集客型に変え、社内のDX化を進め社内ブランドとして「CARRY BASE」を立ち上げました。これは軽トラックを利用してキッチン



カーやキャンピングカーに改装して利用するものです。「この事業はまだまだ成功にはなっていない。自社の本業は钣金。これは絶対に忘れていけない。しかし経営理念の中に「文化的未来」という言葉があります。それを、社員とそれを一緒に取り組むことが、引き継ぐものだと思います。社長がつくってくれた社風を大切に、一つひとつ薄紙を重ねるように実践していきたく思います。」と理念と社風を継承し、未来につなげ発展し続けていくお二人のリーダー報告でした。



小出愛菜氏

岩手リアス支部 10月社員ランチ交流学習会 この地域を選びやりがいをもっと働き続けること

10月10日（木）川の駅産直よこたで、岩手リアス支部社員ランチ交流学習会が開催されました。地域の中で日頃顔を合わせる機会があっても、なかなかゆっくり話をする機会のない社員同士で、普段感じている悩みや思いを存分に話せる貴重な機会として大好評となり、今年3回目となる今回の学習会は(株)陸前高田しみんエネルギーの小出愛菜氏にミニ報告していただきました。

いや大学生から取り組んでいる環境活動の話聞き、改めて気候変動に対する危機感や今自分にできることなどについて参加者全員が真剣に考える機会になりました。

参加者からは「自分の好きなことを見つけ前向きに楽しそうに仕事をしている姿を目の当たりにし、改めて自分は何を大切にしているか、自分の軸は何かを深く考えるきっかけになった」「自分の地域の先進的な取り組みに非常に興味をもった」「これからも地域のことをもっと知りたい」など、同じ地域で働く社員同士、大いに刺激を受けるとともに、地域への思いや自分の仕事への働きがいについて真摯に向き合う有意義な時間となりました。今後も引き続き開催していく予定です。



2024

4委員会共催（経営労働・共同求人・社員共育・障がい者・ダイバーシティ）

全県10月特別例会

社員のやりがいに満ち溢れ、社員に地域に愛される職場とは

～社員が輝く 会社が輝く～

（株）菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司薫氏

10月4日（金）アートホテル盛岡で全県10月特別例会が開催されました。6月の経営労働委員会担当の例会に続き、今回は社員共育委員会が担当し、「社員が輝く 会社が輝く」～社員の成長が会社の原動力～をテーマに、報告者に（株）菓子工房COCOイズミヤ 代表取締役 庄司薫氏（中同協社員共育副委員長・山形同友会社員共育委員長）をお迎えし、50名の参加で行われました。



自分の原点はおいしい洋菓子をみんな楽しんでつくりたいという思いから

庄司氏は曾祖母が1923年に創業した和菓子店「和泉屋」に生まれ、その後3代目の父の代で洋菓子へ転換。当時小学生だった庄司氏は洋菓子のおいしさに魅了され、自分もこんなおいしいものをみんなで楽しくつくりたいという思いが自分の原点と語ります。高校卒業後、洋菓子店で修業を積んだあと、故郷に戻り家族で菓子作りをしますが、家族3人の入院により店の閉店を余儀なくされます。店舗再開を目ざし、借り入れをして店をリニューアルオープンするため、2006年「株式会社菓子工房COCOイズミヤ」として法人化し、庄司氏

が代表取締役に就任しました。それまでには家族の分裂や再結集もあり、2008年に勧められるままに山形同友会に入会。しかし、入会してすぐ経営指針書セミナーへ参加しますが、経営は悪化。社員の退職など負のスパイラルから抜け出すことが出来ない日々が続きます。



負のスパイラルから抜けたきっかけ

そんな中、庄司氏は社員共育委員会と出会い、これまでの自分の経営に対する考えや行動が大きく変わっていきま

りや社内環境を第一優先に考えていましたが、作成した理念に基づく経営を突き進めるため、ときには家族であつても毅然と向き合い、話し合いを重ね、家族経営からの脱却を図ります。「誰とどうなりたいのか、目ざすのは何か」を真剣に考え、取り組んだ結果、全員参加型経営へと大きく変わっていきます。

買ぐ想いとやりきる覚悟 すべては社員がキラキラ 笑顔で働くために

社員全員参加による月次会議は、月々の経営状態を振り返り、原因を分析し、具体的な数値目標達成のために社員全員が発言できるような体制をつくることで、社員一人ひとりが自分で考えるようになりました。また、会議の議事録を作成し、休暇中の社員も含め情報共有の徹底化を図りました。目標達成のために全員で考えて行動することで、次第に社員の主体性が高まり、社員の能力向上の好循環が始まり、売り上げが着実に伸びてきました。ほかにも子どもたちの夢をパティシエとともにケーキとしてつくる「夢ケーキ」の企画、クラウ

ドファンディングを活用したキッチンカーの購入など、次々と地域に浸透した取り組みを広げていきました。今年4月には夢だった新店舗もオープン。社員が将来にわたって活躍でき、地域に必要とされ地域を元気にするお菓子屋を目ざすため、庄司氏はこれからも社員とともに歩み続けます。



庄司氏の報告を聞き、参加した方は、社員に対して本気で向き合っているか、自社の理念実現に向けて真剣に取り組んでいるか、社員一人ひとりが仕事の喜びを感じられているかなど、改めて考える貴重な時間となりました。

経営 研究 集会

In気仙

2024年

13:00開会

11/19

火

メイン会場 大船渡プラザホテル(基調報告・懇親会)

分科会会場 大船渡プラザホテル・キャッセン大船渡

参加費 11,000円(基調報告・分科会および懇親会)

※基調報告・分科会のみ 4,000円 / 懇親会のみ 7,000円

※申込期限 11月12日(火)までにお申し込みください。13日以降
キャンセルは参加費をいただきます。

タイムスケジュール

13:00	開会
13:15～14:35	基調報告
14:45	休憩・移動
15:05～18:35	分科会
14:50～18:00	※移動分科会
19:00	懇親会
20:50	閉会

基調報告

「業界慣習を打破する 『正統派異端系』の挑戦」

～顧客ニーズに応え続ける170年の老舗の革新とは～

報告者

株式会社宮崎本店
代表取締役会長

宮崎 由至 氏

(三重県中小企業家同友会 相談役・理事)

東京下町の居酒屋で絶大な人気を誇る「キンミヤ焼酎」。「下町の名脇役」というブランドイメージは、創業170年を超える老舗であっても業界の異端であることを厭わず、顧客ニーズに応える商品を提供し続けることで構築されました。「老舗は革新の連続」を社是とする「宮崎本店」では、日本酒製造においても新たな挑戦が進んでいます。伝統と革新の混沌ともいべき酒づくりの現場から、激動の現在、「経営者として今何をすべきか」をご提起いただきます。

〈プロフィール〉

創業	1846年
設立	1951年3月1日
資本金	6,750万円
従業員	73名(パートアルバイト1名)
年商	82億円
事業内容	酒類並びに食品の製造及び販売
	https://www.miyanoyuki.co.jp/



有限会社ニコニコ総合企業
代表取締役
大崎 博晃 氏

2018年に気仙支部として経営研究集会を開催し、7年ぶりに第22回の経営研究集会を大船渡を会場に岩手リアス支部が設営担当として皆様をお迎えます。

スローガンは「激動をよき友に～革新と挑戦」を掲げました。発災から13年が経過する東日本大震災からの復興に取り組んできた岩手リアス支部の経験を共有することで、課題や悩みを共に語り合い、人口減少、少子高齢化という岩手県地域に共通する根幹の課題を乗り越えるために、これからの企業づくりと地域づくりの展望を掲げようと実行委員会で議論を経て参りました。

基調報告には、三重から株式会社宮崎本店 代表取締役会長の宮崎由至氏をお迎えし、170年の老舗企業の革新についてご報告いただきます。また1～4の分科会では岩手リアス支部で実践し奮闘されている方の実践報告・見学分科会がございます。ぜひここから、皆様と未来への展望を語って参りたいと思います。ご参加を心よりお待ちしております。

【経営理念・経営指針の実践】

「社長が変われば会社が変わる」

～経営指針の成文化でできた社員との結束～

昨年、第17期経営指針実践塾を受講した中野氏と石井氏。今年の実践の年として、支部例会や第18期経営指針実践塾の実行委員として関わり学んできました。その中で変化したものは、地域に自社の存在を示し必要とされる企業になるために、また社員とのかかわりを深める一年でした。お二人の報告からお互いに切磋琢磨し、刺激しあいながら地域に根差し経営指針の実践をめざしてどう取り組んできたかご報告いただきます。



住田住宅産業株式会社
代表取締役 **中野 和人 氏**

設立 1982年4月
資本金 2,050万円 社員数 10名
事業内容 建設業 建設工事業・大工工事業



一般社団法人スナフキン・アンサンブル
代表理事 **石井 優太 氏**

設立 2011年 社員数 2名
事業内容 就労支援事業(陸前高田ユニバーサル就労支援センター)

第1分科会

【共に育ちあう企業づくり】 社員参加型分科会

「社員と共に育ちあい、一人ひとりが輝く人生をめざして」

～深愛・親愛・心愛でお客様と一緒に歩む企業～

松田氏は、子どもが1歳の時に自宅の6畳1間から保険代理業を始めました。順調にお客様も増えてきた矢先の2011年の3.11の東日本大震災でした。もうダメだと挫折しそうになった時、地震保険、生命保険の給付金を通して「保険に入っていて良かった。本当に松田さんには感謝しきれない」と多くのお客様の言葉に励まされます。そして保険業を通して安心・安全を伝えることは使命だと強く感じました。「お客様には最高の人生(ライフ)のサポートを社員と共に作りたい!」とさらに大きく夢が広がる松田氏の報告です。

(社員の皆様と一緒に参加できる分科会です。)

ライフサポート株式会社
代表取締役 **松田 福美 氏**

設立 2000年3月 資本金 1,000万円
社員数 8名
事業内容 生命保険・損害保険代理店(損害保険、生命保険、少額短期保険、ペット保険)



第2分科会

【顧客創造・付加価値の発信】

「私たちが企業として地域から世界に発信したいこと」

～貫きたい想いを持ち続けければ、必ず実現できる～

東日本大震災から13年、菓子の卸業から食を発信する新たな事業として2021年惣菜をメインにした『和笑輪(わわわ)』の店舗を立ち上げました。ここまでくるとは、何度も挫折そうになりやめようと思いましたが支えになったのが経営理念でした。そして岩手同友会の欧州視察に参加したことで自分たちが描く幸せの未来が見えました。

今では地域の拠り所となっている『和笑輪』。今やっていることが未来をつなぎ、未来を生み出していると話す橋詰氏の報告です。

有限会社橋勝商店
専務取締役 **橋詰 智早子 氏**

設立 1988年
資本金 300万円 社員数 12名
事業内容 地域食材加工販売・合宿教習食堂「マウス」・手づくり惣菜のテイクアウト&ごはん家「和笑輪」



第3分科会

【震災からの復興・経営指針の実践・エネルギーシフト】 見学分科会

「自社の強みと魅力を徹底して突き詰める」

～業界と地域、環境とエネルギーへの徹底した取り組み～

陸前高田の街を一変させた震災から13年。復興により新しいまちの姿が徐々に整ってきました。

長谷川建設 代表取締役 長谷川順一氏は、自然と人間が豊かに暮らせる持続可能な地域づくりを目標に掲げ、母校の旧横田小学校を新社屋にし「アートの町」に向けた拠点にしたいと歩み続けています。

吉田建設 代表取締役 吉田光伸氏は、これまでの「家を作る」という役割から「暮らしを守る」という役割に進化させることを決意し、最先端の断熱技術を自ら学び、社内で勉強会を重ね、最高の住宅性能を提供しています。

(見学はバスでの移動になります。) **先着20名**

株式会社長谷川建設 代表取締役 **長谷川 順一 氏**

設立 1972年2月 資本金 3,100万円
社員数 82名
事業内容 総合建設業、不動産、リサイクル、一般土木、河川造成、トンネル特殊工事



株式会社吉田建設 代表取締役 **吉田 光伸 氏**

設立 1951年 資本金 2,000万円
社員数 15名
事業内容 建築工事業、リフォーム工事、土木工事業、設計業務



第22回経営研究集会参加申込書

お名前	会社名	御役職
お名前	会社名	御役職
分科会	第1希望 分科会/第2希望 分科会	<input type="checkbox"/> 懇親会参加 <input type="checkbox"/> 懇親会不参加 <input type="checkbox"/> 懇親会のみ参加

お問い合わせ・お申し込み 岩手県中小企業家同友会 TEL : 019-626-4477 FAX : 019-626-1644

素心知困

「金賞に輝いたのは北上6校合同出場校!」。今年の第91回NHK全国学校音楽コンクール中学校の部で、全国の名だたる有望校を抑え、初出場の北上市立上野、飯豊、南、東陵、北上北北上の6校合同出場校が金賞を受賞しました。▼小学校では楽しくてしやうがなかったのに中学校には合唱部がなく、続けられない。そんな6つの学校の生徒たちがそれぞれ平日夜、そして土日と公民館に集い練習を重ねました。▼そのお膝元の黒沢尻北小学校は一昨年から全国金賞、銀賞、銅賞と3年連続上位受賞。指導する中野美由紀先生に学び中学に進学した子どもたちが、自主的に集い奏でた今回の最高賞でした。▼中野先生は生徒に話します。「うまくない魔法はない。地道でつまらない練習の積み重ねから私たちの想像を飛び出すエネルギーのある合唱が生まれる。それが聴く人たちの胸に響く音楽になる」▼「入り口を示して出口で笑顔で待つ」...経営者の皆さんの姿が重なります。

■本紙掲載の例会や諸事業には、所属支部に関係なくどこにでも参加できます。ご連絡下さい。■例会や役員会などのカレンダーと事業案内を随時更新しています。■本紙掲載事業への出入返信は、同封のファックス返信用紙またはedyuをご利用下さい。

物を大切にし環境にやさしくしたい 使わない人から使いたい人へ
総合リユースショップ **Doki-Doki 2nd STREET**

(株)トータル・リユース

代表取締役社長 **伊瀬 幸郎**
ise yukiyo

本社 〒026-0041 岩手県釜石市上中島町2-2-33
TEL:0193-21-2126 FAX:0193-21-2127
携帯 090-8780-3296
E-mail: trise@arion.ocn.ne.jp

人と自然にやさしい
環境を創り
地域型企業として
貢献します。

岩手日化サービス株式会社
〒020-0402 盛岡市黒川 22-56
TEL 019-696-5611 FAX 696-5614

めだか

有限会社いわてにつかコミュニティ企画
(事業内容) デイサービス/生活介護/訪問介護/住宅型有料老人ホーム
児童デイサービス/相談支援事業所/訪問看護/就労継続支援B型

ゆたかな幸せのために、より良い環境創りで
真の循環型社会を目指します。

紫波環境株式会社
岩手県紫波郡紫波町南日詰字小路口70-1
TEL:019-672-2656 FAX:019-601-2686
http://shiwakankyo.com/

DOYU
I W A T E
2024
Vol.180

発行/岩手県中小企業家同友会
広報委員会

2024年11月1日発行

オリジナルラベル ワインを作成します

周年記念、御元、お歳暮、ノベルティ等

SHIWA 紫波
自園自醸ワイン
岩手県紫波町産ぶどう100%

社名ロゴ 写真OK 包装、のし無料 12本以上 作成料無料

お申し込み・お問い合わせ
Tel. 019-676-5301
自園自醸ワイン紫波 (株)紫波フルーツパーク
〒028-3535 岩手県紫波郡紫波町遠山字松原1-11

Southern Iwate
DSG サザン岩手ドライビングスクールグループ
Southern Iwate Driving School Group

陸前高田ドライビングスクール 三陸技能講習センター
RIKUZENTAKATA DRIVING SCHOOL Sanriku skill training center

平泉ドライビングスクール 遠野ドライビングスクール
HIRAIZUMI DRIVING SCHOOL TOHNO DRIVING SCHOOL

携帯サイトはこちら
http://www.si-dsg.com/
/mobile

〒02010878 岩手県盛岡市肴町4-15 カガヤ肴町ビル3F
TEL 019-626-4477 FAX 019-626-1644
Mail: info@iwate.doyu.jp

「企業変革支援プログラム ver2」

自社の立ち位置を明確にして
社員とともに目指す企業像

「企業変革支援プログラムステップ1、「企業変革支援プログラムステップ2」を1冊にまとめ、全面改訂

A4判、80ページ。
定価 2,200円
(本体価格 2,000円+税)
2022年10月発行

節電は経費削減につながります!

オフィスの照明を見直し、経費削減を実現しませんか?
お客様のニーズに合わせたLEDソリューションをご提案します。

長寿命 消費電力カット CO2削減 発熱が少ない

現場調査から取付工事まで、すべて平金商店へお任せ下さい!
LEDに入れ替えた場合のコストシミュレーションも可能です。
ぜひお気軽にご相談ください。

株式会社 **平金商店** TEL:019-624-2121